

# Tachikoku Times

No.0054 2月号

東京都立立川国際中等教育学校  
<https://www.metro.ed.jp/tachikawa-s/>

Monday February 20, 2023

本校は「総合的な探究の時間」の取組として【SDGs】に関わる内容を多く取り上げています。1月18日（水）に、第4学年 総合的な探究の

## KeywordはSDGs 総合的な探究の時間

時間で、「探究とSDGsを実社会ベースで学ぶ」をテーマに、一般社団法人「ディレクトフォース」の方々にお越しいただき講演会を行いました。講師の方々は、海外での活動について経験が豊富である元一流企業経営者です。「SDGsの目標達成可能に必要なことは何？を一緒に考えよう！」「グ



ローバルで活躍しよう！～早くから異文化に接し英語力とコミュニケーション力をつけよう～」「SDGs、食べるから見える世界～世界の飢餓と食糧廃棄、国連WFPの活動～」「グローバルな金融とは何か、その実相」の多岐にわたる講演内容で生徒たちは食い入るように話を聞いていました。2月1日（水）には、第5学年で「ソーシャルチェンジの発表を基に身近な社会課題に興味を持つ」「身近な社会課題について、課題解決の具体的なアプローチや方法を多角的な視点から見る」というねらいで講演会を行いました。この講演会では、株式会社グリーン・アンド・カンパニー代表取締役の方を講師としてお招きし、話をさせていただきました。日本での地域貢献活動や、アメリカでの生活や仕事などの多くの経験に基づいた幅の広い話を聞いて、第5学年の生徒たちは「将来、こんなふうになりたい。」「こんな仕事に就くことができたなら…」という思いが膨らんでいたようです。現在、地域社会で貢献活動をされている方々、海外で生活・仕事をされている方々からたくさんの貴重な話をお伺いすることができ、広い視野をもたなければならぬことを実感しながらも、さらに大きく夢が膨らんでいく立川国際の生徒たちです。

## 10年後の自分の姿は？ 第3学年 進路適性検査から見る 進路講演会

第3学年では、1月に「進路適性検査」を実施しました。職業や趣味、学問や自分の性格についてなどの質問にマークシート形式で答え、複数の職業からグループごとの適性を診断する検査を行い、各自の職業に対する適性や学習状況から考えられる事柄について、客観的なデータを得ました。この検査の結果をもとに、オンラインで行った進路講演会を行いました。大手教育情報会社の方を講師として招き、今後の学習や生活についてどのように取り組んで行けばよいかのアドバイスをいただきました。大学受験、大学進学はまだ3年先の話ですが、高校生（本校では後期課程生徒）になる前に進路・受験に関わる情報を知っておくことはとても意味のあることです。検査の結果から生徒自身が今まで以上に広い視野をもち、自らの適性に合ったキャリアデザインを考えるよい機会となった講演会でした。



## 後輩たちに伝える



立川国際は中学1年生から高校3年生までの6つの学年をもつ中等教育学校です。通常の中学校・高校ではできない「異年齢集団の交流」を積極的に進めています。第5学年が取り組んできた総合的な探究の時間のテーマ「困っている人を笑顔にする」のグループ発表を3年生の前で披露しました。4月には後期生（4年生）になる3年生の後輩たちに、自分たちの取組及び発表について「私たち5年生はこんなふうに取り組んできました。」と伝えていました。3年生の生徒たちは、先輩たちの発表を見たり聞いたりして、「1年後に自分たちにもこのような発表ができるのだろうか…」という思いを抱きながら、後期課程への進級に胸を弾ませていました。